

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	洛和福祉会	代表者	矢野 一郎	法人・事業所の特徴	「笑顔あふれる花園」という事業所理念を掲げ、第二の家、アットホームな雰囲気を中心掛けています。日々の集団・個別レク、月1回の行事の他に、食事準備や後片付け等お手伝いをして頂く中で、日常生活における「役割」を感じて頂き、喜びや感謝の気持ちを共有し合える関係性を築いています。
事業所名	洛和小規模多機能サービス花園	管理者	山田 匡人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1(近隣事業所)人	2人	0人	0人	1人	1人	2人	GH管理者1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の内容をしっかりと説明し、記載方法も分かりやすいようにする。	常勤・非常勤を分けて人数を記入する事により、それぞれの立場による内容の理解度、把握度等分かりやすくなった。	前回の改善計画が空白で別紙になっており、見にくいのではという意見があった。	ページをめくり返す必要が無い状態で、誰が見ても見やすい用紙を作成し、事前の説明を行ったあと、お渡しする。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用以外にも介護の相談事やAEDがある事等、もっと見える場所に掲示し、入りやすい玄関口の検討。また、インターホンの応対等職員指導を行う。	玄関先にウェルカムボードの設置を検討しているが、現時点ではまだ作成段階で設置には至らず。	受け止め方は様々だが、立地的に看板は広い道路側に駐車場側に大きく有り、迷わなかった。インターホンも「小規模」「グループホーム」と印字して有りわかりやすいとの意見あり。	ウェルカムボードを設置し、日々の行事等の案内やAEDがある事、介護相談もできる事をアピールし、誰でも入りやすい雰囲気を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	利用以外にも介護の相談事やAEDがある事等、もっと見える場所に掲示し、入りやすい玄関口の検討。また、広報誌等活用し、施設の紹介をしていく。	玄関先にウェルカムボードの設置を検討しているが、現時点ではまだ作成段階で設置には至らず。	同じ町内の方々には知られており、地域行事にも出来る限り参加させていただいている。しかしまだまだまだ何をしている事業所か分からない方も多い。	ウェルカムボードを設置し、日々の行事等の案内やAEDがある事、介護相談もできる事をアピールし、誰でも入りやすい雰囲気を作る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用以外にも介護の相談事やAEDがある事等、もっと見える場所に掲示し、入りやすい玄関口の検討。また、広報誌等活用し、施設の紹介をしていく。	玄関先にウェルカムボードの設置を検討しているが、現時点ではまだ作成段階で設置には至らず。広報誌は不特定多数に配布は出来ないため、ブログを活用している。	利用者以外の近隣の心配な方等との関わりは少しずつ対応している。利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議は、大きな課題が無い場合は行っていない。	今後も地域ケア会議なども含め地域包括との連携を図りながら、また、地域の方とも情報共有し近隣の方々の情報を把握していく。また、他事業所ではどのような対応をされているか情報収集を行う。

E. 運営推進会議を活かした取組み	レジュメ用紙を改善し、報告のみではなく、限られた時間の中で、より有意義な会議になるよう検討して行く。	グループホーム、小規模共に議題だけでなく、大まかな内容を記載したレジュメに変更。円滑に会議が進められるようにしている。	地域の心配な方々の事例検討は行われていない。	今後も地域ケア会議なども含め地域包括との連携を図りながら、また、地域の方とも情報共有し近隣の方々の情報を把握していく。また、他事業所ではどのような対応をされているか情報収集を行う。
F. 事業所の 防災・災害対策	広報誌や今後も回覧等を活用し、事業所の取り組みを知って頂くようにする。	今年度は雨天中止にて地域の防災訓練に参加できず。事業所の訓練は年2回実施。実施前に回覧もさせていただき、参加して下さる方もおられるが、まだまだ認知されていない。	訓練に参加して頂いている方もおられるが、大半の方は知らない。計画書も知らない。	防災計画は運営推進会議でお知らせしていく。訓練のお知らせや様子も広報誌だけでなくウェルカムボードやブログにてお伝えしていく。